

佳作

心が燃えたあの時

山形県 中山町立豊田小学校六年 工藤 もも

私が、一番感動したのは、六年生最後の運動会で、私は白組団長となり、チームを引っ張り勝ちへ導く存在になりました。

放課後練習が始まり、私は音楽室へウキウキした気分で行きました。結団式と応援練習のための練習をしました。結団式はうまくいきましたが、応援練習一日目はもうボロボロでした。さらに先生から赤組よりこの段階で負けるなあと言われ、私の心が燃えました。この日から気持ちが変わりました。すっかり自分が団長だということに責任をもち、六年生の応援団員とその日に何をするか計画を立て、心の準備をして音楽室へ練習に行くようになりました。リハーサルもするようになりました。

次の応援練習の日がきました。細かく説明したり、お手本を見せたりしてうまくまとめられました。不

安から自信に変わりました。毎日目標をもって、練習するようになりました。やれることはもう全部やりました。

そして本番です。私は勝てるかなあという不安と今までやってきたから大丈夫だという自信がごちゃ混ぜになっていました。一発目の応援合戦はミスがあり、その瞬間「やばい」という気持ちになりました。でも、皆がそれに合わせてくれたので、「あ、大丈夫だ」と安心できました。競技の騎馬戦では、一回戦で早いうちに帽子が取られ、やり切れない気持ちでいっぱいになり、涙が出ました。でも、

「大丈夫！次勝とう！」

と言い、はげましてくれる仲間がいました。そして二回戦は勝ちましたが、三回戦は負けてしまいました。そして、最後の応援合戦です。私はこの応援合戦で声を出し、全力ですることだけを考えやりました。そうすると今までにない声で応援してくれました。皆が「全力で完全優勝を取る」という目標に向かって、組の気持ちが一つになりました。これでやり残すことなく終わりました。

閉会式です。期待に不安に胸が押しつぶされそうな気持ちになりました。結果の事に集中して話なん

て全然聞いていませんでした。結果発表です。教頭先生が言う時ドキドキという気持ちがおさまりませんでした。そして発表の時です。

「優勝……赤組!!」

え？何で？と私の気持ちはどん底に落ちました。応援賞発表の時、

「応援賞……白組!!」

私の気持ちは空へ舞い上がりました。そして涙があふれ出てきました。止めたくても止められないくらい出てきました。この体験から私は、何事にも気持ちを込めて全力で取り組み、仲間はそのについてきてくれて、はげましてくれるんだなあと思いました。本気で全力で取り組み、よかったです。感動って、こうして生まれるんだと感じました。